

⑤ ツバタナ・クリステフ編；小峯和明〔ほか〕執筆

『パロディと日本文化』

(笠間書院)

パロディ、と言われるとまず多くの人が漫画やアニメを思い浮かべるかも知れません。しかし、実は『源氏物語』の擬古物語が中世から作られていたり、その歴史は古く、また詩歌や物語に限らず、絵画や食べ物などジャンルは多岐に渡っています。

この本は、ともすれば笑いのイメージが強いパロディという題材を、時には西洋文化や他の東洋文化と比較しつつ、学問として検証しています。パロディとは、タイトル通りに日本文化に普遍的に存在していると様々に研究された、興味深い一冊です。(N.T.)

361.5 ||Paro

⑦ 東田直樹 著

『自閉症の僕の七転び八起き』

(KADOKAWA)

「どんな自分も自分なのだ」と許すことができれば、その時の自分を認めてあげられるような気がするのです。」

この本には著者の過去を振り返る素晴らしい力と読み終えた後に優しい気持ちになれる程素敵な言葉がたくさんあります。著者は、自閉症者としての内面を伝え続けていますが、これは自閉症者だけではなく、普通の人にも共通する思いではないかと思えます。会話が出来ないからこそ見えてくる、何気ないようで大切な多くの出来事がある心温まる一冊です。(H.Y.)

914.6 ||Hig



⑥ 清水玲奈 著

『世界の美しい本屋さん：いつか行きたい世界中の名店ガイド』

(エクснаレッジ)

どの町を訪れても、必ずといって良いほど本屋を見かけます。世界中にも本屋はたくさんありますが、中には物語から飛び出したような、美しい本屋が存在します。

本書では、元は劇場や駅など、別の用途で使われていた建物を利用した本屋や、世界中から作家を志望する人々が集まる本屋など、実に様々な本屋が紹介されています。世界中の個性豊かな本屋について知り、実際に訪れてみたいと思う一方で、本屋はただ単に本を購入する場所ではなく、様々な影響を与えてくれる場所でもあるということを理解させられます。(F.Y.)

024 ||Shi

⑧ 池上彰 著

『世界から戦争がなくなる本当の理由：戦後70年の教訓』

(祥伝社)

著者は戦後70年の節目を迎えた日本と世界の現在に至るまでの過程を振り返り、その間に起きたベトナム戦争、湾岸戦争、アフガニスタン戦争、イラク戦争などの原因・結果を分析しながら、現代史をコンパクトにまとめています。東西冷戦から中東戦争への変遷、イスラム国 (IS) の台頭などを分かりやすく解説し、表面的には個別に見える様々な出来事に共通する政治経済的な要因を示しています。過去の戦争から教訓を引き出し、平和な世界を維持するにはどうすればよいか、多くのヒントを与えてくれる本です。(F.O.)

319.8 ||Ike